

※実施内容については、要綱別紙2「介護職員初任者研修における目標、評価の指針」を網羅すること。

研修カリキュラム（要綱別紙1）		実施計画					
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数				実施内容（別紙参照）	
1	職務の理解 6時間	1	職務の理解 6時間	時間数	うち通学	うち通信	1 職務の理解
	(1) 多様なサービスの理解		(1) 多様なサービスの理解	2.5	2.5	/	(1)
	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3.5	3.5	/	(2)
2	介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	2	介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	時間数	うち通学	うち通信	2 介護における尊厳の保持・自立支援
	(1) 人権と尊厳を支える介護		(1) 人権と尊厳を支える介護	5	5		(1)
	(2) 自立に向けた介護		(2) 自立に向けた介護	4	4		(2)
3	介護の基本 6時間	3	介護の基本 6時間	時間数	うち通学	うち通信	3 介護の基本
	(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 介護職の役割、専門性と多職種との連携	2.5	2.5		(1)
	(2) 介護職の職業倫理		(2) 介護職の職業倫理	0.5	0.5		(2)
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント		(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2.5	2.5		(3)
	(4) 介護職の安全		(4) 介護職の安全	0.5	0.5		(4)
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	時間数	うち通学	うち通信	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
	(1) 介護保険制度		(1) 介護保険制度	3.5	3.5		(1)
	(2) 医療との連携とリハビリテーション		(2) 医療との連携とリハビリテーション	2	2		(2)
	(3) 障害者総合支援制度及びその他の制度		(3) 障害者総合支援制度及びその他の制度	3.5	3.5		(3)

第1-2号様式								
5	介護におけるコミュニケーション技術 6時間	5	介護におけるコミュニケーション技術 6時間	時間数	うち通学	うち通信	5	介護におけるコミュニケーション技術
	(1) 介護におけるコミュニケーション		(1) 介護におけるコミュニケーション	4	4			(1)
	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション		(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	2	2			(2)
6	老化の理解 6時間	6	老化の理解 6時間	時間数	うち通学	うち通信	6	老化の理解
	(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常		(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	2	2			(1)
	(2) 高齢者と健康		(2) 高齢者と健康	4	4			(2)
7	認知症の理解 6時間	7	認知症の理解 6時間	時間数	うち通学	うち通信	7	認知症の理解
	(1) 認知症を取り巻く状況		(1) 認知症を取り巻く状況	0.5	0.5			(1)
	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	3	3			(2)
	(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活		(3) 認知症に伴うところとからだの変化と日常生活	2	2			(3)
	(4) 家族への支援		(4) 家族への支援	0.5	0.5			(4)
8	障がいの理解 3時間	8	障がいの理解 3時間	時間数	うち通学	うち通信	8	障害の理解
	(1) 障害の基礎的理解		(1) 障害の基礎的理解	0.5	0.5			(1)
	(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識		(2) 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1	1			(2)
	(3) 家族の心理、かかわり支援の理解		(3) 家族の心理、かかわり支援の理解	1.5	1.5			(3)

第1-2号様式	
9 ころとからだのしくみと生活支援技術 75時間	
ア 基本知識の学習	10~13時間
(1) 介護の基本的な考え方	
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	
イ 生活支援技術の講義・演習	50~55時間
(4) 生活と家事	
(5) 快適な居住環境整備と介護	
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(11) 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	
(12) 死にゆく人に関連したころとからだのしくみと終末期介護	
ウ 生活支援技術演習	10~12時間
(13) 介護過程の基礎的理解	
(14) 総合生活支援技術演習	

9 ころとからだのしくみと生活支援技術 75時間				うち通学	うち通信	9 ころとからだのしくみと生活支援技術	
ア 基本知識の学習	10時間	時間数				ア 基本知識の学習	
(1) 介護の基本的な考え方		1		1		(1)	
(2) 介護に関するころのしくみの基礎的理解		4		4		(2)	
(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解		5		5		(3)	
イ 生活支援技術の講義・演習	55時間	時間数		うち通学	うち通信	イ 生活支援技術の講義・演習	
(4) 生活と家事		5		5		(4)	
(5) 快適な居住環境整備と介護		5		5		(5)	
(6) 整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		8		8		(6)	
(7) 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		10		10		(7)	
(8) 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		5		5		(8)	
(9) 入浴、清潔保持に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		8		8		(9)	
(10) 排泄に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		9		9		(10)	
(11) 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護		2.5		2.5		(11)	
(12) 死にゆく人に関連したころとからだのしくみと終末期介護		2.5		2.5		(12)	
ウ 生活支援技術演習	10時間	時間数		うち通学	うち通信	ウ 生活支援技術演習	
(13) 介護過程の基礎的理解		2.5		2.5		(13)	
(14) 総合生活支援技術演習		7.5		7.5		(14)	

第1-2号様式	
10 振り返り	4時間
(1) 振り返り	
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	
追加カリキュラム	
計	( 130 時間)

10 振り返り	4時間	時間数	うち通 学	うち通 信	10 振り返り
(1) 振り返り		3	3		(1)
(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修		1	1		(2)
追加カリキュラム					
計	( 139 時間)	130	130		

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実施内容には、講義内容、演習の実施方法、通信学習課題の概要等を記載すること。（別紙でも可）
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。